

日本に君臨するもの2

出典：日本に君臨するもの、フリーメーソン日本ロッジ幹部の証言

紀伊国屋書店の記載：

メディアワークス；主婦の友社（発売）（1998-12-05 出版）

高崎廣【著】（ジャーナリストの島田四郎と高山和雄が解説・補足）

（中略）

p.180 日本フリーメーソンに君臨する最高実力者スコティッシュライト第33位階級 G・I・パーディ氏91才とのインタビュー

G・I・パーディ氏プロフィール

1907年8月10日、アメリカ合衆国コロラド州生まれ

1931年アナポリス海軍兵学校卒業、海軍勤務を経てGHQに勤務後、パーディ商会設立。

アメリカ・テキサス州に本社をおくドレッサー・インダストリーズ・グループの日本支社 **ドレッサー・ジャパン代表取締役**に就任。

1979年ヒラコエネルギー資源開発取締役社長。

財団法人・東京メソニック協会理事長・理事を長年務めた。

スコティッシュライト第33位階級

在日アメリカ商工会議所理事

G・I・パーディ氏とのインタビュー要約

昭和天皇が茨城県日立市に行った時、たまたま日立の銅精練工場にいたため、昭和天皇に挨拶をした。

自殺未遂した瀕死の東条英機に会って、その時の東条の名札をいまだに持っている。

終戦後の日本政府の貴金属(金・銀)の管理に関与。

ボーイスカウトにいたマッカーサーの息子を指導。

在日アメリカ商工会議所の理事を務めており、1985年に勲三等を受けた。

p.152 島田・高山両氏の解説・補足：

(1)アメリカの核エネルギー戦略に組み込まれた日本とその手先の正力松太郎と中曽根康弘、そしてドレッサー・ジャパン及び在日アメリカ商工会議所理事 G・I・パーディ氏の関与：

東京・千代田区丸の内にあるドレッサー・ジャパンは、アメリカの石油関連の世界企業ドレッサー・ジャパン・インダストリーズの日本法人。

主業務は、配管、暖房、冷凍装置、同付属品卸売業で、バルブなどを得意とする。

主取引先は三菱重工、東洋エンジニアリング、東芝、日立製作所、三井造船。

これら取引先は原子力発電に関わっているが、ドレッサー・ジャパンの系列、ニイガタ・メーソンネーラン社は原子力産業会議加盟社となっている。

原発の配管とバルブなどの付属部品を扱うことは、システムとしての原発のキーポイントに関わっている。

原発の内部は配管だけで、それなしには原子炉もタービンも動かすことはできない。また、人間の動脈・静脈と同様、重要な配管や部品の故障は、スリーマイル島やチェルノブイルの惨事に直結する。

(中略)

こうして日本は 1950 年代半ばから原子力開発に着手。日本原子力研究所を創設する一方、電力会社を巻き込み、官民あげて原子力開発へ突進して行く。

それらが具体的な形となって現われてくるのは、1960 年代以降であり、パーディ氏のドレッサー・ジャパンが創業したのも 1965 年である。

即ち日本原研が、研究用にイギリスからコールドターホール型と呼ばれる天然ウランを黒鉛型原子炉を導入した以外、9 電力や日本原子力発電などの商業炉は、全てアメリカの軽水型炉が導入される方向になった。しかも 10 電力がねそれぞれ GE、WH の 2 社にほぼ均等に分けられ、GE は日立、東芝、WH は三菱重工がそれぞれ元請けとなり、その下に無数のプラント、エンジニアリング、部品、計器メーカーからゼネコン、商社まで、グループ毎に巨大なピラミッド構造が形成されて行く。

1966 年(昭和 41 年)の日本原電東海 1 号炉を皮切りに、以後、東京電力、関西電力などが次々に原発を稼働させ、1973 年のオイルショックを機に、日本全土で原発建設が加速する。原子炉の大型化と補償費用の膨張などで、建設費もウナギ上り。70 年代後半には一基 3000 億円とも 5000 億円ともいわれる巨大な市場が形成され、東北電力には原発建設に絡む M 資金話(架空の融資をエサにした詐欺行為)さえ囁かれたほどだ。

関連企業は通常、WH の三菱グループ、GE の東芝・三井グループ、日立グループなど、それぞれに分かれているケースが多いが、ドレッサー・ジャパンの取引先は双方にまたがっており、それだけでも同社の実力がうかがえよう。

(中略)

(2)在日アメリカ商工会議所理事としてのスコティッシュライト第 33 位階級 G・I・パーディ氏の顔：

そこでパーディ氏のインタビューでわかったもう一つの顔に注目しよう。

原子力産業界に身を置き、その分野に精通するだけでなく、ビジネス経験を生かして、在日アメリカ商工会議所の理事を務めていることである。

同氏は 1985 年秋、日本政府から勲三等瑞宝章を受けているのだ。日米経済関係促進と友好親善の促進が叙勲理由となっている。

この勲章は、日本人なら一定のキャリアを持つ国会議員や県知事、上場有名企業社長、業界最大手なら副社長・副会長経験者クラスが叙勲対象となる。

外国人については外務省が申請する。パーディ氏の場合、アメリカ商工会議所の理事経験が大きな叙勲要素となったようだ。

同氏の会社は、日本が原発建設ラッシュに入った 70 年代から 80 年代にかけてがピークに見える。現在、日本で稼働する原発は 50 基を超えたが、大半が 80 年代に建設を終え、最近は反対世論のおかげで完全にスローダウンしている。

(「[仏典、聖書、ジョージ・アダムスキー氏により伝えられた宇宙精神文明](#)」より)